



メガネレンズのご相談は

ご購入店、または下記のお客様相談室までお問い合わせください。



世界を美しくする、最新眼鏡レンズ専門メーカー

東海光学株式会社

本社/愛知県岡崎市恵田町下田5番地26
 お客様相談室 TEL.0564-27-3050
 午前9:30~午後1:00 午後2:00~午後5:30
 (土日 祝日を除く)

メガネレンズ 取扱説明書

このたびは東海光学株式会社をお買い上げいただき、ありがとうございます。レンズを安全に快適にご使用いただくためにこの取扱説明書は必ずお読みください。小さなお子様には保護者が読んでわかるように説明してください。また必要に応じて読むように大切に保管してください。

T-10

●本製品は目の屈折を補正するためのメガネレンズです。

1321-0821 SA1000
2021年8月改訂

お客様のレンズデータ

商品名	コートの種類				
種類	<input type="checkbox"/> 単焦点	<input type="checkbox"/> 遠近両用	<input type="checkbox"/> 中近	<input type="checkbox"/> 近近	<input type="checkbox"/>
素材	<input type="checkbox"/> プラスチック	<input type="checkbox"/> ガラス	<input type="checkbox"/> 調光	<input type="checkbox"/> 偏光	<input type="checkbox"/>
カラー					濃度 %
カテゴリ	<input type="checkbox"/> 運転及び路上使用不適合	<input type="checkbox"/> 夜間運転及び夜間路上使用不適合			
度数	R	S	C	AX	ADD
	L	S	C	AX	ADD
ご購入日	年	月	日	受注(製造)番号	
ご購入店	() -	製造元	東海光学株式会社		

表示マークとその意味

	警告	誤った取扱をした時に重傷・失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。
	注意	誤った取扱をした時に傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。
		一般的な注意が必要なことを示しています。
	禁止	特定の行為の禁止を表します。
		特定の行為の義務づけを表します。

<眼鏡店様へのお願い>

左の「お客様のレンズデータ」表につきましては、誠にお手数ですが、もれなくご記入していただきますよう、お願いいたします。

1.ご使用上の注意(すべてのレンズ)

警告

●衝撃にご注意ください

ガラスレンズやプラスチックレンズでも強い衝撃があれば破損し、破片が目や顔に重傷を負う可能性があります。失明に至る場合もありますので、激しいスポーツなど、破損の可能性がある場合は保護具(ゴーグルなど)を併用してください。



●太陽や強い光を直視しないでください

無色、カラーレンズの濃淡や紫外線カットの有無にかかわらず太陽や強い光を直視しないでください。目に重傷を負ったり、失明に至る場合もあります。



●運転・操縦や階段の昇り降りなどはメガネに慣れてから行ってください

見え方や使い方に慣れないうちは、距離感が異なることがあります。運転・操縦や階段の昇り降り、または段差のあるところなどにはレンズに慣れて違和感を感じなくなってからご使用ください。万一慣れない場合には購入店に改めてご相談ください。



※運転・操縦をされる場合には、メガネを掛けた状態にて適正な視力があることをご確認ください。

注意

●キズついたレンズは使用しないでください

レンズのキズやくもり、ひび割れ及び反射防止コート膜はがれ等によって、見え方に異常を感じたら直ちに使用を中止し、ご購入店にご相談ください。視力が低下したり、光が当たりますと乱反射して見えにくくなります。



●紫外線カットレンズのご注意

通常使用での紫外線をカットします。衝撃や溶接作業、特殊用途の紫外線、レーザー光線、X線などから目を守る保護機能は持っておりませんので専用保護具と併用してください。



●プラスチックレンズは熱にご注意ください(60℃以上)

車の中や砂浜など高温になる場所にメガネを放置しないでください。レンズが変形し、見え方に悪影響を及ぼしたり、フレームからはずれたりする場合があります。



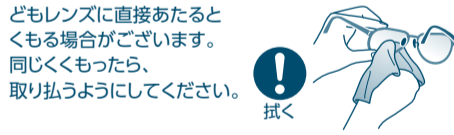
●レンズのくもりにご注意

高温(60℃以上)にさらされたり、急激な温度差にあうとコート膜がヒビ割れます。サウナでは使用しないでください。また熱湯でレンズを洗ったり、ヘアブローなどの熱風をあてないでください。熱い油やアイロン、ストーブ、焼肉コンロやホットプレート、火のついたタバコなど高温のものに近づけないでください。



●レンズのくもりにご注意

温度差や湿度変化でメガネレンズはくもります。外気が冷えた状態でメガネの上からのゴーグルやヘルメット装着はメガネレンズがくもる場合があります。また、撥水コート付のレンズはその特性により、くもりやすい傾向がございます。もしスポーツや運転中にくもったら、大変危険ですので、直ちに中止し、くもりを取り払うようにしてください。また、たばこの先から出る副流煙などもレンズに直接あたるとくもる場合がございます。同じくくもったら、取り払うようにしてください。



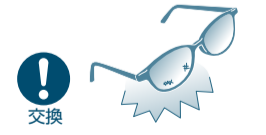
●レンズ保管時のご注意

メガネはそのままの状態では太陽光のあたる場所に置かないでください。凸レンズの場合、その集光作用により、周囲を焦がす恐れがあります。持ち運びする際や使用しない場合は、手入れをしたうえでメガネケースに入れてください。また、保管の際は防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品等の入った場所には保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因になります。



●衝撃を受けたレンズは...

一度強い衝撃を受けたレンズは、たとえ割れなくてもいちじるしく強度が低下する性質があります。キズ、欠け、ひずみなどの不具合が生じた場合には交換してください。



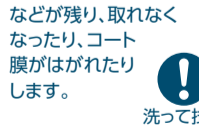
●下に向けて置かないでください

置く時はレンズの表面を必ず上に向けてください。下に向けてとキズの原因となります。



●何か付着したら...

汗、レモンなどの果汁、ヘアスプレー、整髪料、化粧品、カビ取り剤、薬剤(シンナー、トイレ・浴用洗剤)などを含め何か付着した時は、すぐに水洗いして、付着物をよく落として拭き取ってください。そのままにしておくと短時間でもシミなどが残り、取れなくなったり、コート膜はがれたりします。



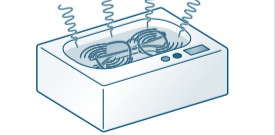
●濡れた時は...

レンズが水に濡れたらすぐに拭き取ってください。乾いてしまうと水あとがシミのように残り、見えにくくなります。



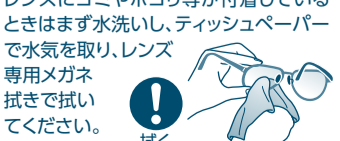
●超音波洗浄器のご注意

超音波洗浄器の長時間での使用は避けてください。コート膜やレンズが傷む原因となります。ご使用の場合は1分間以内を目安にしてください。



●拭く時は...

拭く方のレンズの外側を持って、レンズ専用メガネ拭きでそっと拭いてください。拭く方の反対側を持ったり、力を入れすぎたりすると、フレームやレンズの破損やフレームの変形の原因になります。レンズにゴミやホコリ等が付着しているときはまず水洗いし、ティッシュペーパーで水気を取り、レンズ専用メガネ拭きで拭いてください。



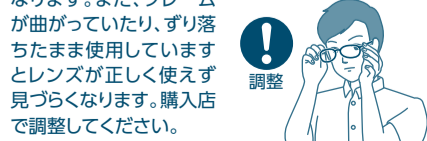
●汚れた時は...

汚れのひどい場合は中性洗剤を薄めた液で洗い、そのあと水洗いをして拭き取ります。アルカリ系の洗剤(石けん、ハンド・ボディソープ等)、酸性洗剤は使用しないでください。コート膜を劣化させ、はがれる原因となります。



●掛けはらずしは...

テンプル(つる)を持って顔にそわせながら正面で行ってください。テンプルは充分に開いてゆっくり掛けはらずしてください。この時、テンプルの先で目や顔を突かないようご注意ください。片方のテンプルを持って無理に行くと型くずれや、ゆるみの原因となります。また、フレームが曲がっていたり、ずり落ちたまま使用しているとレンズが正しく使えず見づらくなります。購入店で調整してください。



●定期点検のおすすめ

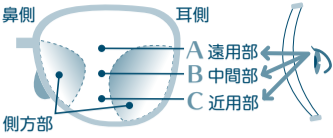
プラスチックレンズは経年変化によって素材が劣化し、収縮・変色などが起こる場合があります。1年毎を目安に、購入店で定期的に点検を受けてください。



2. 累進屈折力レンズ(遠近両用)のご使用方法

特長 遠くから近くまで顔を動かさずに、視線を上下させることで連続的に見えるレンズです。

遠近両用レンズですので、下記のような視線の使い方で、遠く・中間・近くを見ることができ、快適にご使用いただけます。



A 遠くを見る時

遠くを見る時は、ごく普通にレンズの上部をご覧ください。広い視野が得られます。

B 中間を見る時

レンズの中心のやや下の方でご覧ください。ウインドウショッピングや人との対話も快適です。できるだけ正面でご覧ください。

C 近く(手元)を見る時

アゴを前に出す要領で充分に視線を下げてご覧ください。はっきりと見えます。できるだけ正面でご覧ください。

側方部

レンズの側方部は、ゆれ・ゆがみを感じることがあります。

万一慣れない場合には購入店に改めてご相談ください。

注意

●車の運転は

車の運転時には、遠くから近くまであらゆる条件の視野が必要です。レンズに慣れてからにしてください。



●階段の昇り降り

階段の昇り降り、段差のある場所は近用部を使用しますとピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部でご覧ください。

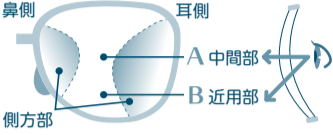


3. 累進屈折力レンズ(中近)のご使用方法

室内用レンズ

特長 中間から近くまで顔を動かさずに、視線を上下させることで連続的に見えるレンズです。

室内用レンズですので、下記のような視線の使い方で、中間・近くを見ることができ、快適にご使用いただけます。



A 中間を見る時

室内で少し先を見る時は、レンズの中心部から中心よりやや上部でみてください。アゴを上下させて、ハッキリと見えるところをさがしてください。

B 近く(手元)を見る時

新聞や本などを見る時は、自然に視線を下げて、レンズの下部で、ご覧ください。

側方部

レンズの側方部は、ゆれ・ゆがみを感じることがあります。

万一慣れない場合には購入店に改めてご相談ください。

警告

●運転や操作に
運転や操作には絶対に使用しないでください。屋外作業やスポーツなどにも、使用しないでください。室内専用ですので、距離が離れるほど見えにくくなります。

注意

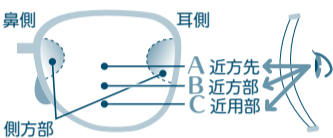
●階段の昇り降り
室内でも、階段の昇り降り、段差のある場所ではピントが合いにくいので使用にはご注意ください。

4. 逆進屈折力レンズ(近近)のご使用方法

デスクワーク用レンズ

特長 違和感のない、自然な視線移動で、手元から奥まで楽に見ることができます。

手元用レンズですので、下記のような視線の使い方で、広い手元視野と十分な奥行視野を見ることができ、快適にご使用いただけます。



A 近方から少し先を見る時

少し離れた距離を見る時は、レンズ上部を使い、ご覧ください。

B 近方を見る時

パソコン画面から、デスク上のものを見る時はレンズの中心部で、ご覧ください。

C 近く(手元)を見る時

手元を見る場合はレンズの下部を使い、ご覧ください。

注意

●近近レンズですので、中間・遠用距離は見えません。
●見える範囲(広さや奥行)はレンズの種類や度数等によって異なります。

※累進屈折力レンズ(遠近両用)のようにアゴを前に出して見る必要はありません。

万一慣れない場合には購入店に改めてご相談ください。

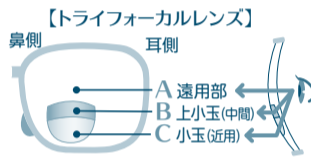
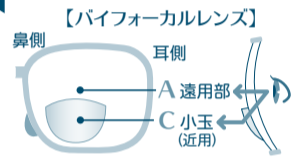
警告

●運転や操作に
運転や操作には絶対に使用しないでください。屋外作業やスポーツなどにも、使用しないでください。近方専用ですので、距離が離れるほど見えにくくなります。

●階段の昇り降り
階段の昇り降りや段差のあるところでは使用しないでください。足元が見えにくく危険です。室内外を問わず歩行時などには使用しないでください。

5. バイフォーカルレンズ(二重焦点)・トライフォーカルレンズ(三重焦点)のご使用方法

特長 視線を移動することにより、遠方および近方(中間)を見ることができます。



小玉レンズの境目 レンズの遠用部と近用部(中間部)の境目は急激に見え方が変わります。遠近感がくう場合がありますのでご注意ください。

A 遠くを見る時

ごく普通に遠用部を通してご覧ください。

B 中間距離を見る時

視線を少し下げ、上小玉レンズを通してご覧ください。

C 近く(手元)を見る時

視線を下げ小玉レンズを通してご覧ください。

注意

●車の運転は

車の運転時には、遠くから近くまであらゆる条件の視野が必要です。レンズに慣れてからにしてください。

●階段の昇り降り
階段の昇り降り、段差のある場所は近用部(小玉)を使用しますとピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部でご覧ください。

6. カラーレンズのご使用上の注意

警告

- カラーレンズではトンネル内や、屋内の暗い場所、薄暮時、夜間の運転および路上の歩行での使用時には不適当であり、場合によっては光量不足で視力が低下し大変危険です。
- 濃度のおおよそ92%以上(視感透過率8%以下)のレンズでは、昼間でも光量不足で視力が低下する場合がありますので運転及び路上での歩行時には使用しないでください。

※羞明対策にて医師の処方箋で遮光レンズなどをご利用の場合は禁止の対象になりませんが、危険性は変わりませんので十分注意いただきご利用ください。

- 夜間・夕暮れ時は、濃度のおおよそ25%を超える(視感透過率75%未満)レンズでは、光量不足で視力が低下する場合があります。大変危険ですので運転及び路上での歩行時には使用しないでください。
- 青・緑・赤などの特殊カラーレンズや一部の遮光レンズは信号の識別がしにくくなり大変危険ですので運転及び路上での歩行時には使用しないでください。
- 特殊カラーレンズは個人により、効果が異なりますので、異常を感じた場合はすぐに使用を取りやめ、購入店にご相談ください。

7. 調光レンズのご使用上の注意

警告

- トンネルや暗い場所での使用は危険です
色が濃くなった状態から淡くなるまで時間がかかります。トンネル内や屋内駐車場の暗い場所や、夕暮れ時には急に淡くなりませんので視力が低下し危険です。これらの場所や時間では光量不足にて大変危険ですので運転及び路上での歩行時には使用しないでください。

注意

- 調光レンズの濃度は紫外線(または可視光線)の強さや温度により左右されます。強い光を受けると発色が促進されますが、温度が高くなると発色が抑制されます。光の量が多くなると温度が高い夏などではあまり濃くならない傾向にありますので、まぶしさを防ぐ場合には別途サングラスの併用をおすすめします。
- 傘や帽子で紫外線を遮ったり、紫外線カットガラスに覆われた車の中では、調光レンズは濃くなりません。
- 調光レンズは紫外線、可視光線等の影響で徐々に経年劣化し、濃度の低下や、色調の変化を生じます。レンズ表面のキズが劣化を促進する場合がございますので、お取り扱いにはご注意ください。

8. 偏光レンズのご使用上の注意

特長 レンズ内の偏光フィルターにより、一定方向の光の乱反射をカットし、まぶしさをやわらげます。

警告

- 濃度のおおよそ25%を超える(視感透過率75%未満)レンズでは、光量不足で視力が低下する場合があります。大変危険ですので運転及び路上での歩行時には使用しないでください。

注意

- 車のフロントガラスなど種類によっては歪みが見える場合があります
車のフロントガラスの種類(熱強化ガラス)やオートバイのヘルメットシールドの種類によっては歪みが見えるものがあります。その場合は視界が悪くなりますので使用しないでください。
- 偏光フィルムは大変デリケートです。長時間水の中へ放置すると偏光フィルムに水が入り変質する恐れがあります。水や超音波洗浄器には浸けないでください。濡れた時はすぐに拭き取ってください。
- 携帯電話、パソコン、テレビ、カーナビなど偏光板を使用した液晶画面は、種類や見る角度により暗くなったり歪みが見えることがあります。

9. 防曇レンズのご使用上の注意(メンテナンスフリータイプ)

特長 防曇レンズはくもり止め効果を発揮するレンズです。専用スプレーがなくても防曇効果を発揮、お手入れが簡単です。

注意

- 使用環境によっては、くもることがあります。
通常マルチコートと比べると優れた防曇効果を発揮しますが、使用環境によってはくもりが生じることがあります。レンズがくもった状態でのご使用は危険ですのでご注意ください。
- 超音波洗浄器は使用しないでください。コート膜やレンズが痛む原因となります。
- 除菌効果のある次亜塩素酸水に類する液体は使用しないで下さい。コート剥がれの原因となります。
- 防曇効果は1~2年ですのでご注意ください。(使用環境により前後)効果低下後、市販のくもり止めを付けても効果は出ません。
- 温度の低い場所から、常温以上の場所へ移動した後や、空気が滞留しやすい全体を覆うタイプの花粉症用のフレームなどの使用環境では、くもりが生じる場合があります。
- 防曇レンズの構造上、レンズの表面に色素など沈着しやすいため、色のついた液体(入浴剤や温泉水など含む)が付着したらすぐに拭き取ってください。

- 通常のレンズより吸水性が良く汚れが残りにやすくなりますので、汚れは水洗いしてください。
- 水分が付着した直後は滑りにくく、特に拭きづらいため、水分を取り除き乾いた後に軽く拭きあげてください。
- お手入れの不備や極端な温度変化や湿度変化、その他の理由により、レンズの表面がくもることがあります。レンズが冷えすぎると、レンズ表面近くの水分が凍って曇りに似たような状態になったり、長時間、高湿度環境でのご使用になると曇り止め効果が弱くなる場合があります。
- お手入れに注意が必要です。
通常のマルチコートに比べて、キズが入りやすいため、特に固い付着物が付いた場合は、お手入れに注意が必要です。
- レンズの黄変変化が少し速く始まります。
防曇レンズの構造上、従来のマルチコートに比べレンズの黄変変化が少し速く始まります。

10. 抗菌レンズのご使用上の注意

特長 レンズ表面の細菌の増殖を抑制し、特定ウイルスの数を減少させますが、細菌やウイルスを死滅させることはできません。

注意

- 表面にキズが入ったり、コートがはがれたりした部分は細菌やウイルスに対する効果が無い場合があります。
- 通常のマルチコートと比べると細菌やウイルスに対して効果が確認できますが、使用環境によっては十分な効果が確認されないことがあります。
- 細菌やウイルスに対する人体の保護を目的としたレンズではありません。
- 病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- 曇り止めクリーナーなど後塗りの塗布材を使用しないでください。抗菌効果がなくなる原因となります。